

2021年4月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

500hPa 高度をみると、北太平洋～北米～ユーラシア大陸で波列パターンが明瞭となり、北太平洋北部、グリーンランドで正偏差、ヨーロッパ北東部で負偏差となった。200hPa 風速をみると、亜熱帯ジェット気流は北アフリカ～南アジア北部で平年と比べて南寄りを流れ、中国東部では北へ蛇行した。北太平洋の偏西風は平年より弱かった。海面気圧をみると、北太平洋北部、北大西洋北部、シベリア南部～日本付近で正偏差、バレンツ海～北極付近で負偏差となった。850hPa 気温をみると、北太平洋北部、カナダ東部、西シベリア、カスピ海付近で高温偏差、カナダ北西部、ヨーロッパで低温偏差となった。

熱帯の対流活動は、平年と比べて、フィリピン付近～北太平洋熱帯域の日付変更線付近、ハワイの東、中米南部付近で活発、インド洋赤道域、大西洋赤道域～西アフリカで不活発だった。赤道季節内振動に伴う対流活発な位相は、インドネシア付近～南米を東進した。対流圏上層では、ユーラシア大陸南部で波列パターンが見られ、特に中国南部で高気圧性循環偏差が明瞭となったほか、太平洋熱帯域中部で南北半球対の低気圧性循環偏差が見られた。対流圏下層では、インドネシア付近で南北半球対の低気圧性循環偏差が見ら

れ、特に北半球側で顕著だった。海面気圧は、インド洋で正偏差、北太平洋熱帯域の西部で負偏差が明瞭だった。南方振動指数は+0.4だった。

世界の天候

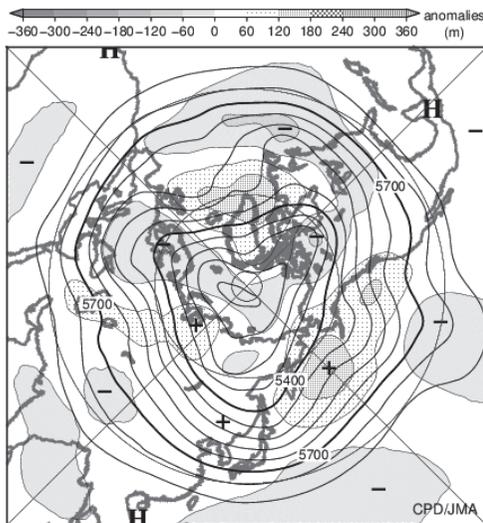
世界の月平均気温偏差（1981～2010年の30年平均値からの偏差）は+0.28℃（速報値）であった。4月の世界の平均気温は、上昇傾向が続いており、長期的な上昇率は約0.79℃/100年（速報値）である。

主な異常天候発生地域は次のとおり。

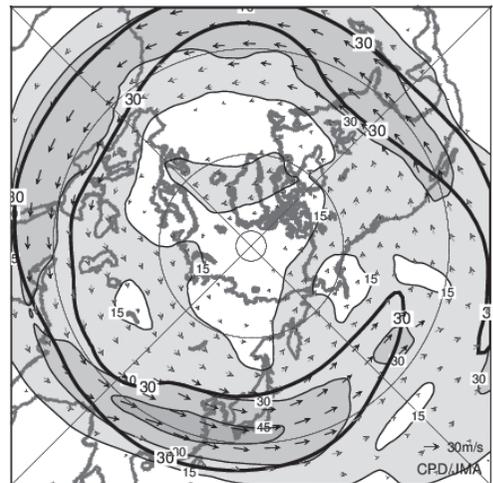
- ロシア北西部、中東中部、モーリシャス及びその周辺、南米南部で異常高温、ヨーロッパ南東部～北西部で異常低温となった。
 - モンゴル及びその周辺、インドシナ半島西部～スマトラ島で異常多雨、ヨーロッパ西部、トルコ南部～ギリシャ南部、米国西部及びその周辺、ブラジル西部、ブラジル南部及びその周辺で異常少雨となった。
- （気象庁 大気海洋部 気候情報課）

※ より詳細な情報については、気象庁ホームページ「気候系監視速報」をご覧ください。

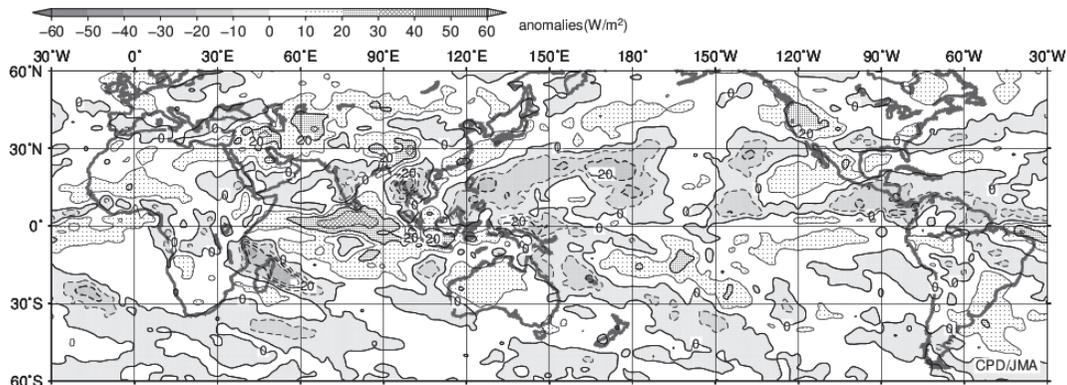
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/diag/sokuho/index.html>



2021年4月の北半球月平均500hPa 高度及び
平年偏差
等値線間隔は60m。陰影は平年偏差。平年値は
1981～2010年の平均値。

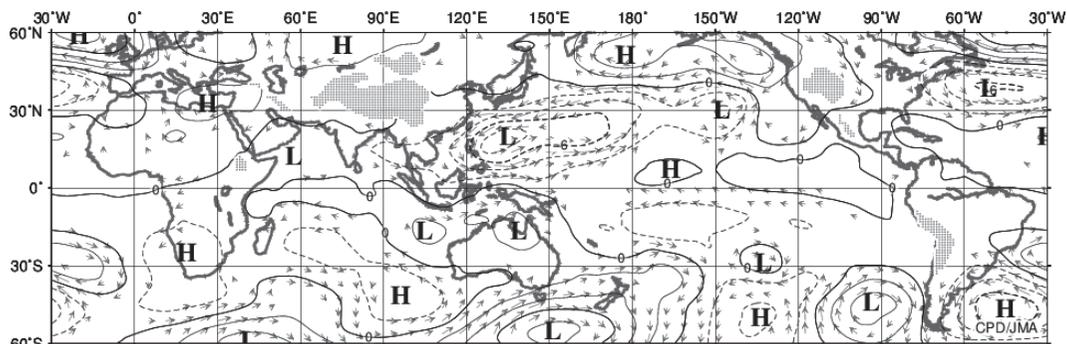


2021年4月の北半球月平均200hPa 風速及び
風ベクトル
等値線間隔は15m/s。太実線は平年の風速で等値
線間隔は30m/s。平年値は1981～2010年の平均値。



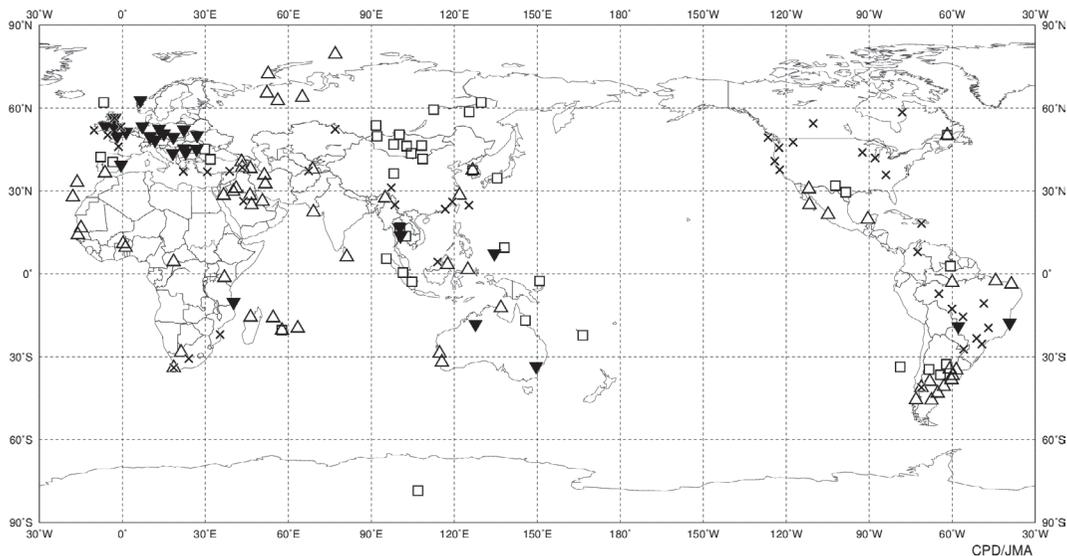
2021年4月の月平均外向き長波放射量年偏差

等値線間隔は 10W/m^2 で、値が小さいほど対流活動が活発であったと推測される。米国海洋大気庁 (NOAA) より提供されたデータを用いて作成。年偏差は1981~2010年の平均値。



2021年4月の月平均850hPa 流線関数年偏差及び風年偏差ベクトル

流線関数の偏差の等値線間隔は $2 \times 10^6\text{m}^2/\text{s}$ 。年偏差は1981~2010年の平均値。



2021年4月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の1.83倍を超える場合、異常多雨・少雨は降水5分位値が6及び0。